

富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧（第38輯）の発刊にあたり

富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧第38輯が完成いたしました。平成26年一年間の教員の研究活動の一覧です。

大学教員の使命は一般に教育、研究、社会貢献といわれます（医学系では診療が加わります）。「知」の伝承（教育）ばかりではなく、新たな「知」の創出（研究）が使命であることが、専門学校ではなく、まさに大学の教員の証しであります。伝承すべき「知」そのものを作り出す機能を欠いては高等教育機関とは呼べません。

さて文科省は国立大学法人をその機能から3つのグループに分けようとしています。①人材育成や地域課題を解決する取り組みなどを通じて地域に貢献する、②強み・特色のある分野で世界ないし全国的な教育研究を推進する、③卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究や社会実践を推進する、という機能です。本学は富山県にある国立大学法人で、地域で活躍できる人材の育成、地域活性化の中核拠点を目指していますが、大学である以上、新たな「知」を創出し、これを伝承する使命を放棄する訳には行きません。上記の②を目指すのが現実的な目標だと思いますし、目指すべきでありましょう（大学としての決定ではありません。念のため）。

そのために教員の研究活動を収集し、記録として保存するという地道な作業が欠かせません。本一覧は、研究者でもある大学教員各位の創意と努力の結晶であり、学内外の共同研究者の協力の成果でもあり、現在の富山大学杉谷キャンパスの実力を世に示す報告書でもあります。互いの研究活動の現状を知り、共同研究を育む情報源として本一覧は大きな意義を持っています。研究者の足跡であるとともに、新たな研究活動へのステップとして本一覧が役に立つことを期待しております。

本研究活動一覧をまとめるに当り多大な尽力を頂きました編集委員会委員と医薬学図書館事務職員の皆さんにお礼を申し上げます。

富山大学附属図書館長 井上博
Inoue Hiroshi